
アンケート考察

普通のシー様（冷凍済み）

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アンケート考察

【Nコード】

N4841Q

【作者名】

普通のシー様（冷凍済み）

【あらすじ】

「犬や猫を殺してみたいですか？」
という問いをノクターンサイトと一般で両方調べてみた。

「犬や猫を殺してみたいですか？」

という問いをノクターンサイトと一般で両方調べてみた。

一般は約10人中一人の割合でYESに投票される

ノクターンは5人に一人がYESに投票。

約600人が投票に参加した

当初、このYES投票の多さは悪戯投票かと思われたが、18歳以下と18歳以上で結果に大きな違いが見られた事に不自然を感じた。

悪戯ならば、モラルの出来上がった18歳以上のノクターン読者より、18以下のモラル無い子供が多い一般サイトの方が、悪戯投票の割合が多くなる筈であるから。

つまり、悪戯では無い可能性がある。

これとは、もう一つ、興味深いデータがある。

「映画、ドラマ、漫画、小説等で感動して泣いた事がありますか？」という問いに答えて貰った際、泣いた事が無いのが半分居た。

この事実は恐らく、泣きを経験している人達は、こんな風に考える。

涙が流せない＝痛みを知らない。人に対してドライ冷めている。
人として問題あり

私もそう思った。

涙を流せるくらいの苦痛をフィクションでさえ感じれない体質は、人として優しくないからだ。

現実世界で困った人を見つけても、手を差し伸べる優しさはありえない。募金とかしないだろう。

なぜなら人に共感できないからだ。痛みや苦しみを本当の意味で理解できてないからである。

世間が冷たい理由が良くわかるだろう。

人は歳を重ねるごとに涙もろくなり、優しくなると言われるけれど、18歳以上のアクセスが多いノクターンにおいてもアンケート結果は変わらなかった。半分の人間が涙した事は無い。

つまり人は、人としての成長は時間は全く関係ないという事である。

普通の一般的な人生を送る限り、涙もろくなるスピードは物凄く小さい事を示している。むしろ、全く成長しないと云っていい。

なぜならば先に涙もろくて優しい人が生み出されると、その人らは、優しさで他の人を甘やかしてしまうからだ。

人は波乱万丈の人生を送らなければ痛みを知らない。

その痛みを教えるチャンスを優しくなる人が無意識に潰している。

優しい人ほど、ドライになって、むしろ、最低な人となりて、生きなければならぬ。

波乱万丈人生を誰かに与えないと、真の意味で善良な市民は生み出せない。

誰かに苦しみを与えろ。それこそが人類発展に不可欠な要素だ。

（後書き）

「誰かに苦しみを与えろ」の意味は沢山ある。外的な痛みと精神的な痛み。飢えや、美に関する見た目を奪う。痛みだけでなく将来の健康そのものを奪う。絶望を与える。5感と5感を統合した第6感。それに苦痛を知らしめる。

ここまで読んで、犯罪思想を肯定すると考える者が要るかもしれない。

しかし、大丈夫。悪は人の痛みを理解していないので、このエッセイの文章の意味が理解できない。未熟者だからこそ理解できない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4841q/>

アンケート考察

2011年2月1日14時48分発行